



Caiman / h33.3×w45.5×d3cm / Enamel, acrylic, blue silvered foil & Japanese paper on panel / 2022

### 今井龍満 展 | 偶然を生きるものたち 2022

会期：2022年9月20日（火）～10月1日（土）\*9月27日（火）休み

時間：13:00～19:00 \*最終日18:00迄

作家在廊予定日：9月20日（火）、24日（土）、30日（金）

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery では、今井龍満 展 | 偶然を生きるものたち 2022 を開催いたします。

1976年東京に生まれた今井龍満は、父・俊満（1928～2002）が作家（画家）という家庭環境の中で、父から美術についての様々な薰陶を受けながら育つ。1995年にはパリで滞在制作中の父の仕事を手伝いながら、グラン・ショミエールにてデッサンを学び、その後、2008年から作家としての活動を本格的に始めた。

今井の作品の描き方は彼独特の方法によって行われている。下書きやデッサン・写真を見ることなく、床に置かれたキャンバスや紙の上からエナメルを垂らし、自らの蓄積された記憶の中から一気に動物や人間を描くのである。この完全にはコントロールし切れない少しの偶然性を帯びた線の描き方によって、生命力溢れる作品が生み出されるのである。

動物は今まさに動き出そうとし、或は静止しようとしている瞬間が捉えられ、動物が本来抱えている獸性を瞳に宿した姿が躊躇いのない描線で描き切られている。また、人においては、彼等に内在する複雑な感情や、適切な言葉を見出すことが難しい一瞬の表情が作品に現れている。

今井の作品を目にした者は、そのエナメルの線と独特的な色彩の組み合せによって、忘れることのない強い記憶を心に刻まれるのである。

弊ギャラリーでは、2021年秋に統いて6回目の個展開催となります。今回は、新たな技法による作品を含め、最新作10数点を展示致します。この機会に是非ご来廊ご高覧頂きますようご案内申し上げます。

略歴：

1976年 東京生まれ  
1995年 グラン・ショミエール（パリ）にて学ぶ  
今井俊満アトリエ／アシスタント  
2008年 個展（ギャラリー・アート・ウイング／川崎）  
2009年 個展（福田画廊 D+5 Art Gallery／新潟）  
2010年 個展（山木美術／大阪）  
2013年 現代美術は今—7 TYPES（松坂屋名古屋店 美術画廊）  
2014年 作品集「偶然を生きるものたち」出版（求龍堂刊）  
—偶然を生きるものたち— 今井龍満絵画展（松坂屋名古屋店 美術画廊 '17, '19, '21）  
2015年 個展（軽井沢ニューアートミュージアム／長野）、個展（Gallery 創／札幌 '17, '22）  
2016年 どうぶつ図鑑—Animals in Art—（メナード美術館／愛知）  
個展（H-art Beat Gallery '17, '19, '20, '21）  
2019年 メナード美術館コレクション名作展2019（メナード美術館／愛知）、個展（Gallery by the Harbour／香港）  
2020年 画家たちの欧羅巴（メナード美術館／愛知）  
2022年 美術の森に生きるどうぶつたち（メナード美術館／愛知）

主な収蔵先：メナード美術館（愛知）、中野邸美術館（新潟）、J's Bar Bistro・THE ROYAL GARDEN（香港）

ノクロキシー京都ホテル（京都）、ザ・パークハビオ月島フロント（東京）、他個人コレクション多数

コラボレーション：“ライディーンビール”ラベル用作品（猿倉山ビール醸造所／八海醸造）

出品予定作品：



Tiger / h72.7×w91×d3cm / Enamel & acrylic on canvas / 2022



Calf / h53×w41×d3cm / enamel & acrylic on canvas / 2022



Sheep / h53×w41×d3cm / Enamel & acrylic on canvas / 2022

<新型コロナ感染拡大防止対策について>

- ・ギャラリー入口に設置しておりますアルコール除菌スプレーをご使用の上、マスクを着用されてのご観覧をお願い致します。
  - ・ギャラリー空間の換気を随時行い、スタッフの手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を徹底し、ご対応させて頂きます。
- 皆さまには何かとご不便をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、会期中でのご来廊が難しい方は、作家や作品についてのメールでのお問合せもお気軽にご相談下さい。

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax. : 03-6256-8986 e-mail : masaru\_nishiyama@hartbeat.co.jp URL: <http://hartbeat.co.jp>